

1 章 舗装工

- 1.1 不陸整正
- 1.2 路盤工
- 1.3 アスファルト舗装工
- 1.4 半たわみ性（コンポジット）舗装工
- 1.5 コンクリート舗装工
- 1.6 連続鉄筋コンクリート舗装工
- 1.7 排水性アスファルト舗装工
- 1.8 透水性アスファルト舗装工
- 1.9 グースアスファルト舗装工
- 1.10 薄層カラー舗装工
- 1.11 橋面防水工
- 1.12 踏掛版工

1章 舗装工

1.1 不陸修正

1. 適用

アスファルト舗装及びコンクリート舗装工事の不陸修正に適用する。

2. 数量算出項目

路床及び路盤の不陸修正の面積を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、補足材料の有無、補足材料平均厚さ、補足材料の規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目	区分	3次元モデル	属性情報				
			補足材料の有無	補足材料平均厚さ	補足材料の規格	単位	数量
不陸修正		B	○	○	○	m ²	
不陸修正 (ICT)		B	○	○	○	m ²	

3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする

(2) 路床面又は路盤面の3次元計測データ並びに3次元設計データ若しくは不陸修正の3次元計測データがある場合における補修材の平均厚さの算出は、以下のとおりとする。

平均厚さ＝体積/面積

体積については、3次元CAD等を用いた場合、1.10 3次元モデルの基本的な表現方法によることを標準とする。

1.2 路盤工

1. 適用

アスファルト舗装及びコンクリート舗装工事の路盤工（瀝青安定処理路盤を含む）に適用する。

2. 数量算出項目

下層路盤、上層路盤の面積を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、仕上り厚さ、規格、平均幅員、瀝青材料種類・締固め後密度とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目	区分	3次元モデル	属性情報								
			規格 (材料)	仕上り厚		施工区分	平均幅員	瀝青材料種類・締固め後密度	単位	数量	備考
				一層当り平均仕上り厚 (mm)	全仕上り厚 (mm)						
下層路盤（車道・路肩部）	B	○	—	○	○	—	—	m ²			
下層路盤（車道・路肩部） （ICT）	B	○	—	○	○	—	—	m ²			
下層路盤（歩道部）	B	○	—	○	○	—	—	m ²			
上層路盤（車道・路肩部）	B	○	○	○	○	○	○	m ²			
上層路盤（車道・路肩部） （ICT）	B	○	—	○	○	○	—	m ²			
上層路盤（歩道部）	B	○	—	○	○	—	—	m ²			

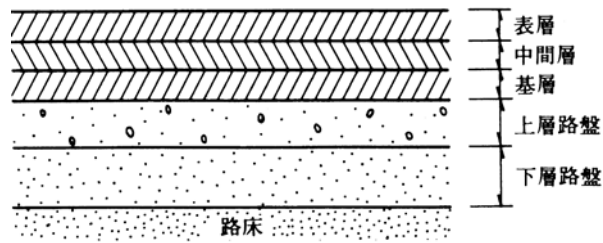
3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする

注) 上層路盤（車道・路肩部）における仕上り厚区分について、規格（材料）が瀝青安定処理材の場合は「一層当り平均仕上り厚」、粒度調整砕石の場合は「全仕上り厚」を適用する。

(2) 仕上り厚さ区分及び規格区分

路盤の仕上り厚さ及び材料の規格（粒調砕石40～0、クラッシュラン40～0等）ごとに区分して算出する。

(アスファルト舗装の構成例)



(3) 平均幅員区分

- ① 1. 4 m未満
- ② 1. 4 m以上 3. 0 m以下
- ③ 3. 0 m超

(4) 施工区分

- ① 1層施工
- ② 2層施工
- ③ 3層施工
- ④ 4層施工
- ⑤ 5層施工
- ⑥ 6層施工

(5) 路床面又は路盤面の3次元計測データ並びに路盤面の3次元設計データがある場合における路盤の仕上り厚さの算出は、以下のとおりとする。

仕上り厚さ = 体積 / 面積

体積については、3次元CAD等を用いた場合、1.10 3次元モデルの基本的な表現方法によることを標準とする。

1.3 アスファルト舗装工

1. 適用

アスファルト舗装工における基層・中間層・表層及び縁石工におけるアスカーブに適用する。なお、アスファルト混合物が現地プラント方式の場合、アスファルト混合物の締固め後密度が1.90t/m³未満、2.50t/m³以上の場合を除く。

2. 数量算出項目

車道・路肩部、歩道部の別に基層、中間層、表層の面積を、アスカーブの延長をそれぞれ区分ごとに算出する。面積＝本線＋すりつけ部＋非常駐車帯を算出する。

3. 区分

区分は、基層・中間層・表層1層当りは平均仕上り厚、平均幅員、規格、瀝青材料種類とし、アスカーブは断面積、規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

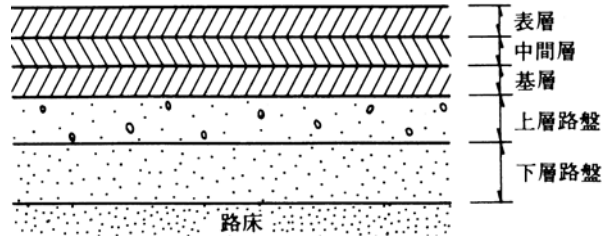
項目	区分	3 次 元 モ デ ル	属性情報							
			1層当 り平均 仕上り 厚 (mm)	平均 幅員	断面 積	規格 (材料)	瀝青材 料種類	単位	数量	備考
基層（車道・路肩部）		B	○	○	—	○	○	m ²		
中間層（車道・路肩部）		B	○	○	—	○	○	m ²		
表層（車道・路肩部）		B	○	○	—	○	○	m ²		
基層（歩道部）		B	○	○	—	○	○	m ²		
中間層（歩道部）		B	○	○	—	○	○	m ²		
表層（歩道部）		B	○	○	—	○	○	m ²		
アスカーブ		B	—	—	○	○	—	m		

3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする

(2) 1層当り平均仕上り厚及び規格・瀝青材料種類区分

舗装の厚さ及び材料の規格（再生密粒 As13、再生粗粒 As20、再生 As 安定処理路盤等）、瀝青材料種類（タックコート、プライムコート等）ごとに区分して算出する。
材料の規格は締固め後密度も示す。

(アスファルト舗装の構成例)



(3) 平均幅員区分

平均幅員による区分は、下記のとおりとする。

- ①1.4m 未満
- ②1.4m 以上 3.0m 以下
- ③3.0m 超

1.4 半たわみ性(コンポジット)舗装工

1. 適用

開粒度タイプ加熱アスファルト混合物を舗設後、セメントミルクを浸透させる半たわみ性舗装工及び半たわみ性コンポジット舗装工におけるセメントミルク浸透に適用する。
 なお、アスファルト混合物の舗設はアスファルト舗装工を適用する。

2. 数量算出項目

セメントミルク浸透の数量を区分ごとに算出する。

3. 区分

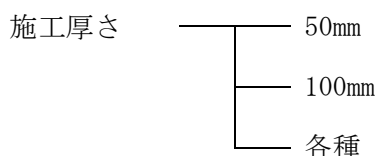
区分は、施工厚さ、浸透用セメントミルク種類とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

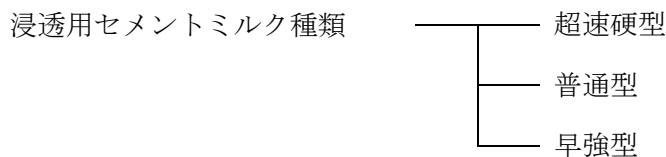
項目	区分	3次元モデル	属性情報					
			施工厚さ	浸透用セメントミルク種類	浸透用セメントミルク使用量(ℓ/100m ²)	単位	数量	備考
セメントミルク浸透		B	○	○	○	m ²		

3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする

(2) 施工厚さによる区分は、以下のとおりとする。



(3) 浸透用セメントミルク種類による区分は、以下のとおりとする。



関連数量算出項目

項目	3次元モデル	属性情報		
		単位	数量	備考
表層(車道、路肩部)	B	m ²		「第3編(道路編)1.3アスファルト舗装工」参照

3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする

4. 数量算出方法

数量算出は、「第1編(共通編)1章基本事項」による。

1.5 コンクリート舗装工

1. 適用

コンクリート舗装工（連続鉄筋コンクリート舗装工・転圧コンクリート舗装工は除く。）に適用する。

2. 数量算出項目

コンクリート舗装、縦目地、横目地の数量を区分ごとに算出する。
 なお、路盤の数量は、「第3編（道路編）1.2 路盤工」に、アスファルト中間層の数量は、「第3編（道路編）1.3 アスファルト舗装工」により算出する。

3. 区分

区分は、施工箇所、舗装厚、規格、施工方法とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

1) コンクリート舗装

項目	区分	3次元モデル	属性情報					数量	備考
			施工箇所	舗装厚	規格(材料)	施工方法	単位		
コンクリート舗装		B	○	○	○	○	m ²		
鉄網	B	○			m ²		舗装100m ² 当たり		
鉄筋鉄網	B	○			t		〃		
補強鉄筋	B	○			t		〃		

3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする

2) 縦目地

項目	区分	3次元モデル	属性情報					数量	備考
			施工箇所	舗装厚	規格(材料)	施工方法	単位		
タイバー		B	○	○	○	○	本	目地1000m ² 当たり	
ねじ付タイバー	B	○			本		〃		
クロスバー	B	○			kg		〃		
チェア	B	○			個		〃		
目地板	B	○			m ²		〃		
注入目地材	B	○			kg		〃		
シール材	B	○			kg		〃		
木材又はL型プラスチック材	B	○			m		〃		

3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする

3) 横目地

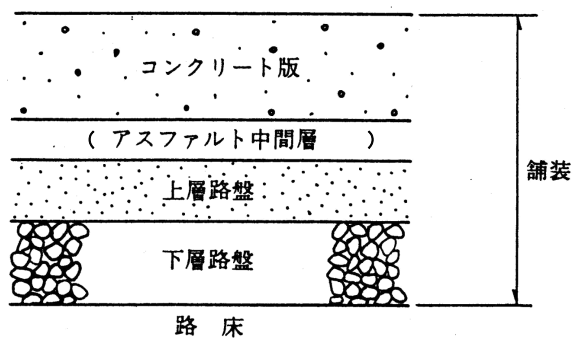
項目	区分	3次元モデル	属性情報					数量	備考
			施工箇所	舗装厚	規格(材料)	施工方法	単位		
スリップバー		B	○	○	○	○	本	目地1000m ² 当たり	
キャップ付スリップバー	B	○			本		〃		
クロスバー	B	○			kg		〃		
チェア	B	○			個		〃		
目地板	B	○			m ²		〃		
注入目地材	B	○			kg		〃		

3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする

(2) 施工箇所区分

本線、副道、歩道等の施工箇所ごとに区分して算出する。

(コンクリート舗装の構成)



(3) 施工方法区分

施工方法による区分は、下表のとおりとする。

施工方法	
機械施工	① 1車線施工
	② 2車線施工
人力施工	

1.6 連続鉄筋コンクリート舗装工

1. 適用

連続鉄筋コンクリート舗装工に適用する。

2. 数量算出項目

コンクリート舗装、縦目地の数量を区分ごとに算出する。
 なお、路盤の数量は、「第3編（道路編）1.2 路盤工」に、アスファルト中間層の数量は、「第3編（道路編）1.3 アスファルト舗装工」により算出する。

3. 区分

区分は、施工箇所、舗装厚、規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

1) コンクリート舗装

項目	区分	3次元モデル	属性情報					
			施工箇所	舗装厚	規格(材料)	単位	数量	備考
コンクリート舗装		B			○	m ²		
鉄筋		B	○	○	○	t		舗装100m ² 当り

3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする

2) 縦目地

縦目地については、「第3編（道路編）1.5 コンクリート舗装工」によるものとする。

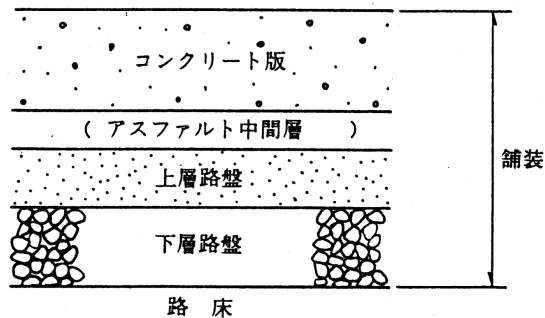
3) 横目地

横目地については、必要に応じて「第3編（道路編）1.5 コンクリート舗装工」によるものとする。

(2) 施工箇所区分

本線、副道、歩道等の施工箇所ごとに区分して算出する。

(連続鉄筋コンクリート舗装の構成)



1.7 排水性アスファルト舗装工

1. 適用

車道における排水性アスファルト舗装工事に適用する。
 なお、平均施工幅員が1.4m未満の場合において、1層当り平均仕上り厚が50mmを超える場合、平均施工幅員が2.4m以上の場合において、1層当り平均仕上り厚が65mm以上の場合を除く。

2. 数量算出項目

排水性アスファルト舗装面積、導水パイプ延長を区分ごとに算出する。面積＝本線＋すりつけ部＋非常駐車帯を算出する。

3. 区分

区分は、平均施工幅員、1層当り平均仕上り厚、導水パイプの設置の有無、片側車線数、規格、瀝青材料の規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目	区分	3次元モデル	属性情報								
			平均施工幅員	1層当り平均仕上り厚(mm)	導水パイプの設置の有無	片側車線数	規格(材料)	瀝青材料の規格	単位	数量	備考
排水性舗装・表層(車道・路肩部)		B	○	○	○	○	○	○	m ²		
導水パイプ		B		—				○	m		平均施工幅員1.4m未満

3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする

(2) 平均施工幅員

平均施工幅員による区分は、下記のとおりとする。

- ① 1.4m未満
- ② 2.4m以上

(3) 規格区分

材料の規格を示すとともに、締固め後密度も示す。

1.8 透水性アスファルト舗装工

1. 適用

歩道における透水性アスファルト舗装工に適用する。

2. 数量算出項目

フィルター層面積、透水性アスファルト舗装面積を区分ごとに算出する。
なお、路盤の数量は、「第3編（道路編）1.2 路盤工」により算出する。

3. 区分

区分は、平均幅員、1層当り平均仕上り厚、規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目	区分	3次元モデル	属性情報					
			規格(材料)	平均幅員	1層当り平均仕上り厚	単位	数量	備考
フィルター層		B	○		○	m ²		
透水性アスファルト舗装		B	○	○	○	m ²		

3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする

(2) 規格区分

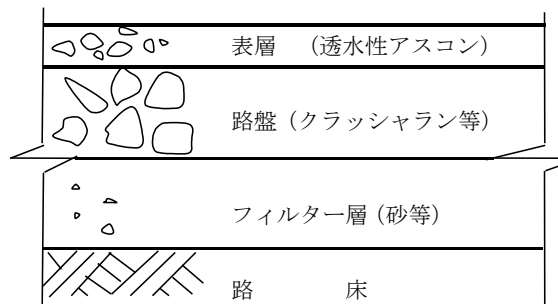
材料の規格を示すとともに、空隙率（フィルター層は除く）、締固め後密度も示す。

(3) 平均幅員区分

透水性アスファルト舗装の平均幅員（W）による区分は、下記のとおりとする。

- ① $W \geq 1.4\text{m}$
- ② $W < 1.4\text{m}$

(透水性アスファルト舗装の構成例)



1.9 グースアスファルト舗装工

1. 適用

グースアスファルト舗装に適用する。

2. 数量算出項目

グースアスファルト舗装面積を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、舗装厚、規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目 \ 区分	3次元モデル	属性情報				
		舗装厚	規格	単位	数量	備考
グースアスファルト舗装	B	○	○	m ²		
プレコート砕石	B	—	○	kg		
目地材	B	—	○	m		

3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする

(2) 舗装厚区分

グースアスファルト舗装面積を舗装厚ごとに区分して算出する。

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

(1) プレコート砕石・目地材の数量は、グースアスファルト舗装100m²当り必要量を算出する。

1.10 薄層カラー舗装工

1. 適用

薄層カラー舗装工に適用する。

2. 数量算出項目

薄層カラー舗装面積を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、規格・舗装厚とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

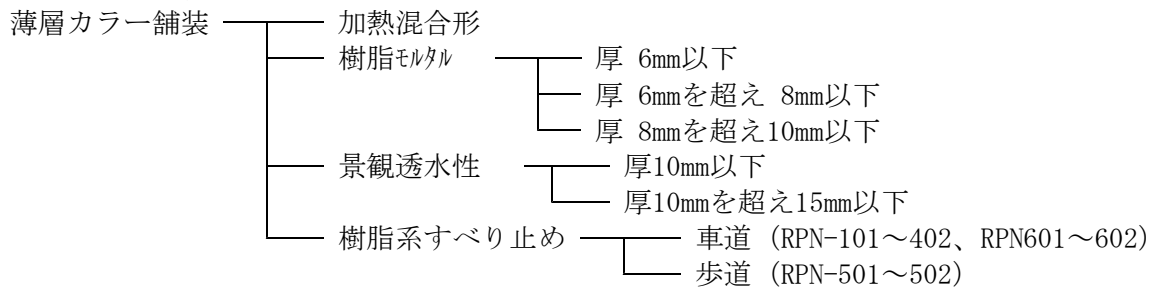
項目 \ 区分	3次元モデル	属性情報			
		規格・舗装厚	単位	数量	備考
薄層カラー舗装	B	○	m ²		

3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

(1) 薄層カラー舗装は以下の区分により算出する。



- (注) 1. 樹脂系すべり止め舗装の区分は、規格・仕様別に区分して算出する。
 2. 樹脂モルタルについては、一般部と階段ステップ部に区分して算出する。

(2) 加熱混合形薄層カラー舗装は、「第3編（道路編）1章舗装工 1.3アスファルト舗装工」による。

1.11 橋面防水工

1. 適用

シート系防水（アスファルト系）、塗膜系防水（アスファルト系）による橋面の防水工に適用する。

2. 数量算出項目

施工面積を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目	3次元モデル	属性情報			
		規格	単位	数量	備考
橋面防水	B	○	m ²		
ドレーン材	B	○	m		防水100m ² 当たり
目地材	B	○	m		〃

3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする

(2) 規格区分

シート系防水及び塗膜系防水ごとに区分して算出する。

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

(1) 施工面積には、端部処理の立上り面積は含めない。

1.12 踏掛版工

1. 適用

厚さ0.35m以上0.6m以下の現場打ちの踏掛版の設置に適用する。
ただし、主たる鉄筋が太径鉄筋（D38以上D51以下）の場合には適用しない。

2. 数量算出項目

コンクリート体積を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、コンクリート規格、鉄筋量、ゴム支承の有無、鉄筋材料規格・径とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目	区分	3次元モデル	属性情報					
			コンクリート規格	鉄筋量	ゴム支承の有無	鉄筋材料規格・径	単位	数量
踏掛版		B	○	○	○	○	m ³	

3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする

- 注) 1. アンカーボルトは踏掛版受台にて施工されるため含まない。
2. 鉄筋量は、踏掛版1箇所当りの鉄筋量とする（スパイラル筋は含まない）。
3. 路盤材の敷設は含まない。
4. コンクリートのロスを含む。

(2) 鉄筋量区分

- ①0.08t/m³以上0.10t/m³未満
- ②0.10t/m³以上0.12t/m³未満
- ③0.12t/m³以上0.14t/m³未満
- ④0.14t/m³以上0.16t/m³未満
- ⑤0.16t/m³以上0.18t/m³未満
- ⑥0.18t/m³以上0.20t/m³未満
- ⑦0.20t/m³以上0.22t/m³未満
- ⑧0.22t/m³以上0.24t/m³未満
- ⑨0.24t/m³以上0.26t/m³未満
- ⑩0.26t/m³以上0.28t/m³未満
- ⑪0.28t/m³以上0.30t/m³未満
- ⑫0.30t/m³以上0.32t/m³未満
- ⑬0.32t/m³以上0.34t/m³未満

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

- (1) 作業土工は、「第1編（共通編）2章土工」によるものとする。